

第29回（平成26年度）
商業経済検定試験問題
〔ビジネス経済A〕

解答上の注意

1. この問題のページは2から15までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて記号で答えなさい。
5. 計算用具などの持ち込みはできません。
6. 制限時間は60分です。

※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

1 次の文章を読み、問いに答えなさい。

2014年に子どもたちにヒットしたアニメがある。これは妖怪をモチーフにしたアニメで、^{あいきょう}愛嬌のある個性豊かな妖怪たちがさまざまな騒動を引き起こすというものである。メダルや腕時計などのアニメ関連の玩具は売り切れが続出し、入手するのが困難であった。

玩具の製造・販売を行うA社では、このアニメ関連の玩具を扱っている。(a)A社では、アニメ関連の玩具の購入希望者にwebサイト上で定期的に抽選を行い、当選者に対して定価で販売を行っている。抽選に応募する人が毎回多く、玩具を入手するのは難しい状態が続いた。CMやインターネットを通じて玩具の情報は流れているのにも関わらず、簡単には入手できないことで消費者の購買意欲はさらに掻き立てられている。またその一方で、(b)オークションを活用して玩具を入手している人も増えた。

このように、さまざまな方法により玩具は流通している。しかし、需要と供給のずれが生じている状態が続いていたため、希望する玩具を手に入れることができない子どもと保護者は依然として多かった。そのため、A社は玩具の増産を行い、(c)財(販売する玩具)に価格をつけ、買い手と売り手の希望が一致するところで配分を実行するしくみが機能してくることで需要と供給のずれを徐々に解消していくように努めた。

A社では、2015年3月期の決算でこのアニメ関連の玩具の売上目標を70億円としていたが、すでに2014年度の上期のみで225億円を達成しており、今後の伸びに注目が集まる。また、このアニメ関連の玩具の売れ行きが好調なため、A社の株価も上昇した。ヒット商品が出てくることはうれしい限りだが、一方でどのようにしてその商品を消費者に届けていくのかも考えていかなければならない問題である。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)の理由として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. A社では、抽選という方法を通じて、玩具を欲しいと考えている人に広く公平に行き渡るように考えているため。
- イ. A社では、抽選という方法を通じて、玩具を欲しいと考えている人と話をして気持ちを確認した上で販売しようと考えているため。
- ウ. A社では、抽選という方法を通じて、売れ残りの在庫を処分するしくみを構築しようと考えているため。

問2. 下線部(b)の理由として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. オークションは、一般的には最も名声を得ている人が財を得ることができるので、社会貢献の実績を作るのは難しいが、実績を作ることができれば入手できる確率が高まるため。
- イ. オークションは、一般的には最も財を有効にPRすることのできる人が財を得ることができるので、PRするための手間はかかるが熱意が伝われば入手できる確率が高まるため。
- ウ. オークションは、一般的には最も高い価値を見出している人が財を得ることができるので、支払う金額は大きくなるが入手できる確率が高まるため。

問3. 下線部(c)を何というか、7文字で正しい用語を記入しなさい。

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

経済学では、市場に任せておけばすべてうまくいくという考え方がある。これを市場原理主義という。しばしば、小さな政府の推進や公営事業の民営化に対する説明に用いられてきた。

この考え方は(a)非常に多くの売り手と買い手が存在して、差別化されていない財が取引される市場を前提としている。また、この市場では売り手も買い手も、取引される財の正確な情報を知っている。現実的にはこのような市場は成立しにくいことから、市場の理想的な姿を表しているといわれる。

それでは、現実的にどのような市場が考えられるのかをみていくことにする。まず、独占市場がある。これはある財を提供する企業がただ一つしか存在していない市場である。この市場では買い手は企業を選択して購入することができない。次に、(b)寡占市場がある。これはある財を提供する企業が2社以上、多くとも10数社程度の市場である。大企業中心に生産が行われる現代の市場の大多数は寡占市場である。さらに、独占的競争市場がある。これは(c)非常に多くの企業が存在しているが、そこで販売される財は各企業の特徴を反映して差別化されている市場である。このように、差別化の程度とそこに存在する企業数に応じてさまざまな市場に分類することができる。

また、市場経済の特徴の一つとして企業間の競争があげられる。(d)競争によって、市場は活性化し、効率性が促進され、新しいビジネスを生み出す基にもなる。顧客のニーズに応える新しいビジネスを生み出せるような健全な市場が形成されることを期待したい。

問1. 下線部(a)の市場を何というか、漢字6文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(b)のわが国における例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 情報処理・提供サービス業 イ. 自動車製造業 ウ. 商品先物取引業

問3. 下線部(c)における企業活動の具体例として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. ある紳士服専門店では、他店でも取り扱いのある2,000円のワイシャツを2枚買えば3枚目は1,000円という価格戦略を打ち出している。
- イ. あるコンビニエンスストアでは、他のコンビニエンスストアでいれたてのコーヒーを販売していることに追随して取り扱いを始めた。
- ウ. ある家電量販店では、アニメのキャラクターをデザインとして施した独自のパーソナルコンピュータを販売している。

問4. 下線部(d)の理由として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 競争企業に勝つために、独創的な技術や製品などの既存の枠組みをこえたものを開発する必要があるため。
- イ. 競争企業に勝つために、人材育成にかかる費用を抑え、やがてハングリー精神をもった人材が現れ、企業数が増えることになるため。
- ウ. 競争企業に勝つために、国や地方公共団体へ自社が有利になるような法整備を陳情し叶えられることで有利な環境へと変わってくるため。

③ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

高校2年生のAさんは、甘いものが好きでそのなかでもとくにケーキに目がない。先日、Aさんの誕生日会が自宅で開かれ、特注ケーキを8等分したところ、夢中で食べるうちに3個も食べてしまっていた。

Aさんは、ケーキを食べるなかであることに気がついた。それは、ケーキを1個、2個と食べるにつれ、徐々に満足度の増加分が小さくなってきているということである。後日、ビジネス経済の授業で、(a)満足度に関して、消費量が増えれば増えるほど、新たに追加した1個の財から得られる満足度の増加分が小さくなっていくという法則があることを知った。

Aさんは、大好きなケーキを少しでも多く食べたいと考えているが、限られた小遣いのなかで、何個も購入するのは難しいと考えている。最近、近所の洋菓子店で、ショートケーキが300円から250円に値下げされたことを知った。Aさんは、うれしく思いショートケーキを以前より多く買いたいと思った。これは(b)価格が低くなったことで、他の商品よりショートケーキを選択するという直接的な効果が生じたためである。今後、Aさんは、よりショートケーキを購入すると考えられる。また、甘いものが好きなAさんは、ショートケーキに限らずシュークリームや焼き菓子などの洋菓子も購入の選択肢に含め、(c)最適消費を目指すことが考えられる。

Aさんのように、自分がより満足するためにはどうしたら良いのかということを私たちは考え行動している。経済学は、私たちが普段何気なく行動していることに対する意味づけや視点を提供してくれる。実際には、満足度を数量化することは難しかったりするが、それでもその部分について仮説を立て考えていくことで私たちの生活に役立つ深い分析ができるのである。

問1. 下線部(a)の法則を経済学の観点からみた場合に何と云うか、漢字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)のような効果を何と云うか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 所得効果 イ. 代替効果 ウ. 乗数効果

問3. 下線部(c)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 限られた予算のなかで、満足度が最大になるように、消費する財の種類と量を消費者が選択すること。
- イ. 限られた予算のなかで、家計が十分に成り立つように、消費する財の種類と量を消費者が選択すること。
- ウ. 自由に決められる予算のなかで、満足度が最大になるように、消費する財の種類と量を消費者が選択すること。

④ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

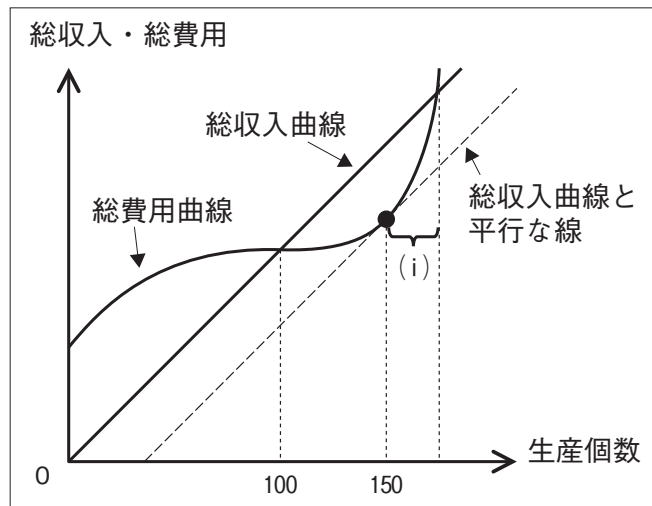
生産者は何を基準に生産量を決定するのかを考えてみよう。例えば、パンの製造業者の総収入曲線と総費用曲線を下図に示す。

総収入曲線は、パンを製造した分だけ売れると仮定すると、右肩上がりの直線となる。総費用曲線は、ある程度の生産量までは新たに従業員を雇うことなく既存の生産体制で対応できるためになだらかに推移するが、(a)一定の水準以上の生産をすると既存の生産体制で対応するのが難しくなり、新たに従業員を雇い入れる必要が出てきて下図の(i)のように1単位生産するための増加の幅が大きくなる。このような状況下では、追加で生産すればするほど費用が高くなってしまう。

そのため、(b)パンの製造業者が安定した経営を行うために、最適な生産個数を求める必要が出てくる。最適な生産個数を求めるには、下図のように総収入曲線の平行線を総費用曲線に接するように引き、総収入と総費用との関係を考えれば良い。

また、あまりに生産量を抑えすぎると(c)生産量に関係なくかかる費用が重くのしかかってくるため、最適な生産量を考えていかなければならないだろう。収入の増加分だけでなく、費用の増加分についても同時に考えていくことで、企業は最適な経営を行うことができるのである。

総収入曲線と総費用曲線



問1. 下線部(a)の法則を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. パレートの法則 イ. 一物一価の法則 ウ. 限界費用逓増の法則

問2. 下線部(b)に記された生産個数として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 0 イ. 100 ウ. 150

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 変動費 イ. 固定費 ウ. 準変動費

問4. 本文の主旨から、生産者は何を目的に生産量を決定しているか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 利潤最大化 イ. 収入最大化 ウ. 費用最小化

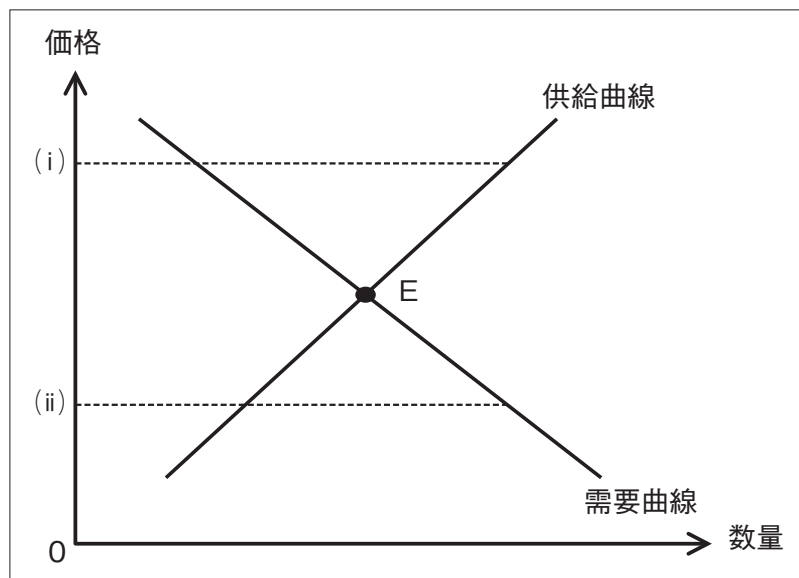
⑤ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

財の価格はどのようにして決まるのであろうか。このことについて、下図のように需要曲線と供給曲線の交差する点で説明することが多い。

例えば、(a)下図(i)の価格の状態は供給量と需要量にずれが生じている状態である。この状態では供給量に対して需要量が少ないので、売れ残りによる損失を減らすために売り手側は価格を下げる。そのことにより供給量は減り、需要量が増える。一方、下図(ii)の価格の状態では需要量が供給量を上回っている状態である。この状態では、供給量に対して需要量が多いので、利潤を獲得するために売り手側は価格を上げる。そのことにより供給量は増え、需要量が減る。このようにして、最終的には(b)需要量と供給量が一致するE点で取引が行われるのである。

供給曲線や需要曲線は、固定的なものではない。何か特別なことが起きると変動する。供給曲線の変動要因には、(c)原料価格の高騰や技術革新などがある。また、需要曲線の変動要因には、大規模な災害や政府支出の増大などがある。

需要曲線と供給曲線



問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 超過利潤 イ. 超過需要 ウ. 超過供給

問2. 下線部(b)を経済学の観点からみた場合に何というか、漢字で正しい用語を完成させなさい。

問3. 下線部(c)によって供給曲線はどのようにシフトするか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 原料価格の高騰が起こることで、供給曲線は右にシフトし、技術革新が起こることで供給曲線は左にシフトする。
イ. 原料価格の高騰が起こることで、供給曲線は左にシフトし、技術革新が起こることで供給曲線は右にシフトする。
ウ. 原料価格の高騰が起こることで、供給曲線は左にシフトし、技術革新が起こることで供給曲線は左にシフトする。

⑥ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

牛丼業界では、数社による激しい競争が繰り広げられている。牛丼1杯の価格は競争により下落を続け、1杯200円台から300円台の間で推移している。

(a)価格を下げると一時的に消費者の購買意欲が増し、売り上げが増加するが、しばらくすると再び落ち込むという傾向がみられる。また、円安による原材料の価格高騰の影響があり利潤を出すのは容易ではない。

政府は市場における自由競争を保証しているが、場合によっては(b)同じ産業のなかの企業どうしが、適正な利潤を得ることができないほどの競争が起きることを懸念している。当然、正当な理由がなく商品価格を著しく低い価格で継続して販売することは(c)独占禁止法の違反にもなる。人々の生活を豊かにするために、また企業が存続していくためにどのような形が望ましいのかを考えていく必要がある。

外食産業では常に競争相手が存在し、競争に勝ち抜くことが企業存続のために必要になってくる。一方で、(d)他の企業が追随できない独自のメニューを開発することで、事実上の価格設定者になることもできる。実際に、消費者はどこで食事をするのかを決める時に、店名で決めることがあるが、メニューを想像して決めることも多い。既存の商品の枠組みにとらわれることなく常に新しい価値を創り出していけるかが、企業の存続にとって重要となってくるのである。

問1. 下線部(a)の理由として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 価格を下げた時は、印象の強さから消費者の購買活動につながるが、商品の特異性がそれほどなく、同業他社に追随されることでめずらしさが徐々に薄れてくるため。
- イ. 価格を下げた時は、印象の強さから消費者の購買活動につながるが、商品の特異性があり、それでも価格が高いと徐々に感じてくるため。
- ウ. 価格を下げた時は、印象の強さから消費者の購買活動につながるが、商品の特異性がそれほどなく、価格が高い状態の同業他社に安心感を求めるようになるため。

問2. 下線部(b)を何というか、漢字4文字で正しい用語を記入しなさい。

問3. 下線部(c)を運用するために設置された機関を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 経済産業省 イ. 公正取引委員会 ウ. 公安委員会

問4. 本文の主旨から、下線部(d)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 独自のメニューを開発することで、企業価値が高まり、競争企業から買収対象とされた時に買収価格を高めた状態になること。
- イ. 独自のメニューを開発することで、所属する業界団体における地位が確実に上がり企業活動が行いやすい状態になること。
- ウ. 独自のメニューを開発することで、顧客の指名買いを促し、競争にとらわれることなく価格を決めることができる状態になること。

7 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちは、日々選択をしながら生活をしている。例えば、昼食を購入する際に、パンにするか、弁当にするかで悩むということがある。ここにAさんという高校生がいて、パンを購入することで得られる効用が12、弁当を購入することで得られる効用が10であったとする。ちなみに、ここでは便宜的に効用を数値化して捉えている。(a)パンを選択すれば、弁当を購入すると得られる効用を放棄し、弁当を選択すれば、パンを購入すると得られる効用を放棄することになる。このように何かを選択するということは、他の選択肢を選択することで得られるものを放棄することにつながる。これを機会費用という。私たちは、機会費用を考えながら選択を行っているのである。

それでは、さらに踏み込んで選択の根拠を科学的に説明する方法について考えてみる。(b)このことを解明した学者として、映画「ビューティフル・マインド」のモデルになったアメリカの数学者がいる。下図は、彼が考案したゲーム理論を説明するものである。同じ液晶テレビを扱う家電量販店のX店とY店があり、決算に向けて、競合店が値下げを考えているという情報が入ってきた場合の結果をまとめている。この場合では、(c)X店、Y店とも明白な選択をする。なぜならば、互いに競合店がどのように出てくるかわからない状況において、そういう選択をしたほうが売り上げを大きくできるからである。しかし、そもそも互いに協力できていれば2店ともさらに売り上げを大きくできるのである。このようなことを考えると(d)意思決定に関して重要なゲーム理論の結論が導かれるのである。

個人や企業が、それぞれ合理的に活動していくことは大事であるが、全体をみた時の利益につながっているかという難しい。ゲーム理論は選択の重さを考えさせてくれる理論である。

値下げとすえおきの組み合わせと結果

X店 \ Y店	値下げ	すえおき
値下げ	(40, 40)	(80, 20)
すえおき	(20, 80)	(50, 50)

()のなかの左は、X店の売上台数、右はY店の売上台数となる。

問1. 下線部(a)について、機会費用の値として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 10 イ. 12 ウ. 22

問2. 下線部(b)に記された学者は誰か、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. ジョン・ヒックス イ. ロバート・マンデル ウ. ジョン・ナッシュ

問3. 本文の主旨から、下線部(c)のゲーム理論の結論として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. X店、Y店とも値下げを選択する。
 イ. X店、Y店ともすえおきを選択する。
 ウ. X店とY店とでは逆の選択をする。

問4. 本文の主旨から、下線部(d)は何か、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 個々の合理的な選択が、全体にとっても合理的な選択につながるということ
 イ. 個々の合理的な選択が、全体にとっても合理的な選択になってはならないこと
 ウ. 個々の合理的な選択と全体にとっても合理的な選択は、相関がないということ

⑧ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

一国の経済規模を測る指標としてGDP(国内総生産)がある。GDPは、一定期間のうちに国内で新たに生み出された付加価値の総額であり、その国における外国籍の人や外資企業が新たに生み出されたものも含まれる。付加価値の総額はどのようにして求められるのか、小麦農家、製粉業者、製パン業者が存在する国を例にみてみよう。

例えば、小麦農家が中間生産物を使うことなく70円の小麦を生産し、製粉業者は70円分の小麦を購入して、120円分的小麦粉を生産する。さらに、製パン業者が120円の小麦粉を購入して180円のパンを生産したとする。この場合の小麦農家の付加価値は70円、製パン業者の付加価値は□□□□となる。このとき、(a)パンの価値に占める小麦粉の価値や、小麦粉に占める小麦の価値は、付加価値に含めない。パンは財の一つなので、これらの生産活動がすべて国内で行われるなら、この場合のGDPは、各生産者の付加価値の総額180円となり、最終生産物となるパンの生産額と一致する。

また、(b)GDPは有力な経済指標であるが、経済の実態を必ずしも正確に表すものではない。例えば、引越しを考えればわかりやすい。業者に頼めばGDPとして計上されるが、自分たちで行えば代金の授受はないのでGDPは計上されないのである。

このように、GDPは経済の実態を推し量るために有効な指標ではあるが、一方で指標に盛り込まない要素があることを理解してみていくことが重要になる。

問1. 文中の□□□□に入る金額はいくらか、正しい金額を記入しなさい。

問2. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 埋没費用 イ. 取引費用 ウ. 中間費用

問3. 下線部(b)の理由として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 国によってGDPとして具体的に計上する項目が異なり、基準が統一されていないので曖昧で経済の実態を正確に表したものであるとはいえないから。
- イ. 市場で取引されなければGDPとして計上されないので、家事労働やボランティア活動は該当せず、経済の実態を正確に表したものであるとはいえないから。
- ウ. 社会的に必要な財やサービスであると判断されなければGDPとして計上されないので、基準が毎年異なり経済の実態を正確に表したものであるとはいえないから。

㊦ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

GDP(国内総生産)は、一国の経済の生産面に着目した指標である。2014年11月に政府が発表した、わが国のGDP速報値によると同年7～9月期の成長率は、予想外の2期連続マイナス成長となった。

ところで、生産されたものはいずれ何らかの形で消費される。これを支出面からみたGDPという。内訳としては、家計の消費や民間投資、政府支出、(a)純輸出などがある。支出面からみたGDPを分析すると、家計の消費の割合が最も大きく60%程度となっている。(b)政府支出も20%近辺の高い水準で推移している。これらの値は、生産額よりも把握しやすいことから、政府では四半期ごとに発表する速報値は、支出面からみたGDPを使っている。他にも、付加価値の総額は分配面からみることができる。分配面とは、生産された付加価値の総額がいずれ何らかの形で社会に分配されるというところからきている。内訳としては、雇用者報酬や営業余剰、固定資本減耗、生産・輸入品にかかる税や補助金などがある。雇用者報酬に関しては、(c)景気回復の兆しを受け2014年3月の労使交渉で一部の企業でベースアップの動きが出てきている。

経済全体での動きとなると、想像しにくい面があるが現実には自分の給与と密接に関わっているということも考えると身近に感じられるのではないだろうか。今後の経済動向から目が離せない。

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 輸出額から輸入額を差し引いたものであり、海外へどれだけの財やサービスを輸出しているかの指標である。
- イ. 輸出額から返品分を差し引いたものであり、海外へどれだけの財やサービスを輸出しているかの指標である。
- ウ. 輸出額から関税を差し引いたものであり、海外へどれだけの財やサービスを輸出しているかの指標である。

問2. 下線部(b)の理由として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 公共投資の額が増加し、少子高齢化にともなう医療保険や介護保険給付の政府負担分が増加してきているため。
- イ. 公共投資の額は減ってきているが、少子高齢化にともなう医療保険や介護保険給付の政府負担分が増加してきているため。
- ウ. 少子高齢化にともなう医療保険や介護保険給付の政府負担分が減ってきているが、公共投資の額が増加してきているため。

問3. 下線部(c)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 経済全体の景気回復によって企業業績も良くなり、今まで活用してきた賃金表を改定し、全体的に賃上げを行うこと。
- イ. 経済全体の景気回復によって企業業績も良くなり、今まで活用してきた賃金表に則り、昇給を実施するということ。
- ウ. 経済全体の景気回復によって企業業績も良くなり、勤務実績や企業への貢献度合いに応じて賞与を出すということ。

10 次の文章を読み、問いに答えなさい。

平成25年度末のわが国の国債残高・借入金残高・政府保証債務額の総計額、いわゆる国の借金は約1,000兆円を超えている。そして、充実した社会福祉を行うために、現在の労働者の負担が年々増えてきている。

このような状況を解決するため、年金・医療・介護・少子化などの社会福祉の財源確保のために、平成26年4月1日に(a)消費税が5%から8%に引き上げられた。増税前には、駆け込み需要といわれる、少しでも安いうちに多くの商品を購入しようとする動きが見られた。そこで、私たちは、消費行動を決定する際に重要な項目である金額の水準である物価指数に気づかされる。

私たちは商品の価格が高ければ消費行動を控え、商品の価格が低ければ多くの物を購入する。この物価の水準を示す指標として、消費者物価指数(C P I)というものがある。これは、(b)基準の年において一般的な消費者が購入する消費財のリストを決めておき、基準の年とほかの年の消費財の購入リストの購入費用を比較して物価変動を示すものである。

下図を例に考えてみよう。下図では、基準となる年は20XX年である。農業製品の価格は50円、工業製品の価格は100円であったが、20YY年には、農業製品の価格が48円、工業製品の価格は110円になったとする。また、20XX年において一般的な消費者は、10単位(個)の農業製品と5単位(個)の工業製品を1,000円で購入したとする。この場合、20YY年においては1,000円で購入できなくなり、20XX年のC P Iを100としたとき

C P Iの値は異なった値を示す。

わが国では、大幅な金融緩和政策の影響もあり、(c)低率のインフレーションが持続してきている。物価の上昇に見合うだけの賃金引き上げがあれば生活は成り立つが、物価のみが上昇した場合、生活は厳しくなるであろう。

消費者物価指数の算出方法

	20XX年		20YY年
	基準となる消費財のリスト	価格	価格
農業製品	10	50	48
工業製品	5	100	110
基準となる消費財のリストの価格		1,000	
C P I		100	

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. モノやサービスなどの消費に課せられる税であり、消費者が負担する直接税である。
- イ. モノやサービスなどの消費に課せられる税であり、販売者が負担する直接税である。
- ウ. モノやサービスなどの消費に課せられる税であり、消費者が負担する間接税である。

問2. 下線部(b)を何というか、7文字で正しい用語を記入しなさい。

問3. 本文の主旨から、表の20YY年のC P Iの数値はいくらか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 3 イ. 103 ウ. 1,030

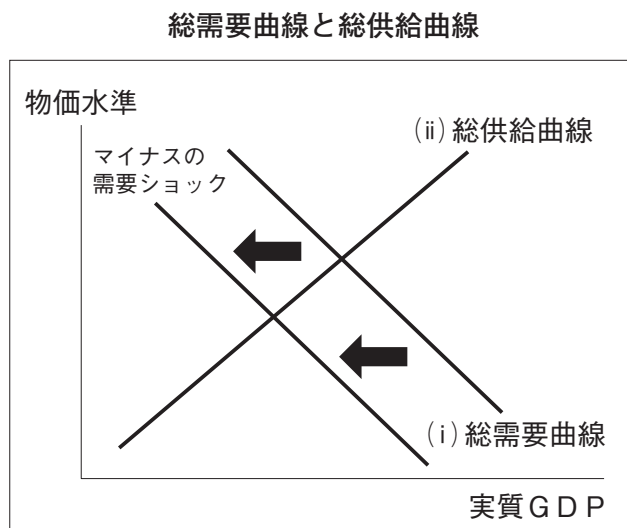
問4. 下線部(c)の現象を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. クリーピング・インフレーション
- イ. ギャロッピング・インフレーション
- ウ. スタグフレーション

11 次の文章を読み、問いに答えなさい。

経済学では、経済成長の動向は主に供給面に決まり、短期的な景気変動は需要面の影響を強く受けるといわれている。1900年代前半までの経済学では、「供給はそれ自身の需要を創造する」と要約される古典派経済学者のセイの理論が一般的なものとされていた。

しかし、イギリスの経済学者のケインズは、これまでのセイの理論と異なる、(a)経済の総供給能力には、総需要に比べて十分な余裕があり、実際のGDPは総需要に制約されて決まるという考えを提唱した。GDPと総需要の関係について右図を例に考えてみよう。



図中(i)の総需要曲線は、物価が上昇すれば総需要が減少することを示している。また、図中(ii)の総供給曲線は、物価上昇により個別の財の価値が上昇すれば総供給は拡大することを示している。そして、実質GDPと物価水準は、総需要曲線と総供給曲線の交差で決まる。しかし、何らかの理由により、需要側の変化によって引き起こされる(b)マイナスの需要ショックが起きると総需要曲線は左にシフトすることにより、景気の悪化と物価下落を引き起こす。また、総需要曲線が右にシフトする(c)プラスの需要ショックが起これば、景気の拡大と物価上昇を引き起こす。

このようにマイナスの需要ショックにしても、プラスの需要ショックにしても、物価に与える影響が大きい。そのため、物価上昇の調整を行うために中央銀行は、市場で流通する貨幣の総額を増減させることにより、過度に物価上昇しないように調整する働きをもっている。

問1. 下線部(a)を何というか、漢字4文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)が起きる一因として考えられるものとして、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 政府支出が増大し景気が回復することで、将来に対する景気の冷え込みを警戒し、限界消費性向が減少し、総需要曲線が左にシフトすることになる。
- イ. 社会保障の未整備や失業の恐れなどの将来に対する不安が増大するなかで、限界消費性向が減少し、総需要曲線が左にシフトすることになる。
- ウ. 貨幣供給量が増大し景気が過熱することで、一時は限界消費性向が増大するが反動で即座に減少し、総需要曲線が左にシフトすることになる。

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. デイマンド・プル・インフレーション
- イ. コスト・プッシュ・インフレーション
- ウ. ハイパー・インフレーション

12 次の文章を読み、問いに答えなさい。

政府は毎年、国の予算の計画を立てている。財務省から発表された平成26年度の予算編成は、「経済再生・デフレ脱却と財政健全化をあわせて目指す予算」と「社会保障・税一体改革を実現する最初の予算」を掲げている。わが国の予算の編成から政府の取り組みをみてみよう。

平成26年度の一般会計の総額は約96兆円である。このうち所得税や(a)法人税などの税収でまかなえるのは50%程度であり、不足分は国債発行による依存をしているため、わが国の予算は年々厳しくなっている。

政府は税の徴収や、公共事業の発注による、さまざまな経済活動を行っている。これらの活動は財政といい三つの役割がある。

第1は、(b)民間企業にまかせることのできない道路や公園などの公共財の整備である。第2は、最低限度の生活を行うために、生活保護や失業補償などの社会保障の整備や、所得の格差を小さくするために、(c)高所得者に高い税率を適用する税の制度である。第3は、失業にともなう不況をさけるために、景気の状態により税率や公共事業の増減を計画的に行い意図的に景気の調整を行うことである。

平成26年度の一般会計の歳出をみると、私たちの未来への投資や暮らしの安全の推進のために使われているが、(d)これまでの国債の返済のために約25%が使われ、新規の国債発行による国債依存度が50%に近づいている。わが国の財政は、これまでの借金を新たな借金で返済することで、わが国の借金総額が増えている状態である。

今後も、未来への投資や暮らしの安全のための財政の運営が必要ではあるが、私たち国民もわが国の予算の使われ方にこれまで以上に目を向ける必要がある。

問1 下線部(a)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 法人の所得金額に対して課せられる国が徴収する直接税である。
- イ. 法人の所得金額に対して課せられる国が徴収する間接税である。
- ウ. 法人の所得金額に対して課せられる地方公共団体が徴収する直接税である。

問2 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 所得再分配機能
- イ. 景気安定化機能
- ウ. 資源配分機能

問3 下線部(c)を何というか、漢字で正しい用語を記入しなさい。

問4 下線部(d)による結果として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. これまでの国債の返済と国債依存度が高くなっても、公共事業が増えることで、これまで以上に景気を高めることができ、いずれは国債の完全返済ができる。
- イ. 歳入不足のため、国債依存度が高くなっても、不足分の財源を補うことができるが、自分の子どもや孫などの将来の世代に多額の借金を負担させることになる。
- ウ. これまでの国債の返済額増加により国債依存度は高くなるが、経済成長を果たした他国からの資金援助により、いずれは国債依存度を低くすることができる。

13 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちが納める税(租税)によって、国民が「健康で豊かな生活」を実現することができる。国や地方公共団体の財源となっている税の機能や役割についてみてみよう。

税は国の歳入となるのが基本であるが、税には、国民の所得格差を小さくする機能や、(a)EU諸国で二酸化炭素の排出量に応じてかけられている炭素税のように、人々の消費者行動を抑制する効果をもつものもある。また、税は直接税と間接税の二つに分類され、代表的な直接税である所得税は、強い所得再分配機能をもたせることができ、間接税に比べて市場をゆがめることも少くない。そのため、(b)わが国では1949年のシャープ税制勧告以来、所得税が重視されている。

しかし、所得税の制度には給与所得者の所得は政府が正しく把握できるが、給与所得者以外の所得を正しく把握できないため、所得税のみを重視した制度では、(c)「同じ所得であれば職業などに関わらず同じ税を負担する」という考えを保ちづらいという欠点がある。

また、所得税を重視した制度では、十分な税収が得られない可能性などの理由により、わが国では、1989年に消費税が導入された。(d)消費税の導入後は、直接税と間接税の比率(直間比率)の見直しが議論されるようになった。

消費税は、1989年の導入時は3%であったが、その後、5%・8%へと引き上げられた。今後は、消費税を10%に引き上げることが議論されているが、消費税の引き上げも含めて、税収の安定化と国民の公平な負担となる見直しに期待したい。

問1. 下線部(a)の例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 固定資産税 イ. 住民税 ウ. たばこ税

問2. 下線部(b)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 戦中体制において戦費調達を行うために、国民から多額の税の徴収を行っていたので、すべての税を減税とした。
- イ. 所得税の最高税率が高率のため、最高税率の引き下げを行い、全体として所得税は減税となるようにした。
- ウ. 地方税の徴収額が国税よりも多額であったため、国が税の管理をしやすいように国税の徴収額を増額した。

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 水平的公平性 イ. 垂直的公平性 ウ. 比例的公平性

問4. 下線部(d)における、わが国の状況として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. わが国の国税と地方税を合わせた直間比率は、直接税が約3割、間接税約7割の比率である。
- イ. わが国の国税と地方税を合わせた直間比率は、直接税が約5割、間接税約5割の比率である。
- ウ. わが国の国税と地方税を合わせた直間比率は、直接税が約7割、間接税約3割の比率である。

14 次の文章を読み、問いに答えなさい。

日本銀行は、わが国における唯一の中央銀行である。日本銀行は、「発券銀行」・「政府の銀行」・「銀行の銀行」の3つの性質をもっている。日本銀行の金融政策をみてみよう。

日本銀行は、(a)マネタリー・ベースを操作して、銀行預金を変化させることができることにより、金融市場に大きな影響を与えることができる。そのため、銀行預金の大部分は貸し出しに回り金融政策は、(b)コール市場における利子率であるコール・レートに目標値を設定し、それが実現できるように公開市場操作を行うことで実施される。公開市場操作には、(c)資金供給のためのオペレーションと資金吸収のためのオペレーションがある。

また、近年の金融においては、1990年代初頭のバブル経済の崩壊により、日本経済は長い低迷期に入り、物価の下落が続いた。そのため、(d)1999年以降、日本銀行は、デフレーションの阻止と景気回復のための金融政策を断続的に行った。

その後、2001年から2006年にかけては、コール・レートがきわめて低く、さらに低下させる余地がなくなったため、金融政策のターゲットをコール・レートから日本銀行の当座預金残高を増加させる政策を行った。

このような日本銀行の金融政策によって、わが国の物価は安定し、国民の生活や経済の健全な発展を実現することで、私たちは健全な経済生活を送ることができる。

問1 下線部(a)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 市場に流通する現金通貨と国民が市中銀行から借り受けている借入金の合計額
- イ. 国民の借入金額の総額と日本銀行が市中銀行に貸し出している貸付金の合計額
- ウ. 市場に流通する現金通貨と日本銀行が市中銀行から預かった当座預金の合計額

問2 下線部(b)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 銀行が個人に短期的に資金を融通する市場
- イ. 銀行間で相互に短期的な資金を融通し合う市場
- ウ. 銀行間で相互に長期的な資金を融通し合う市場

問3 下線部(c)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 日本銀行が国が所有する国債を国民や民間企業に売却して、日本銀行の資金を増やすこと
- イ. 日本銀行が市中銀行の保有する国債を買い取ったり、国債を担保に資金を貸し出すこと
- ウ. 日本銀行が自ら保有する国債を市中銀行に売却したり、市中銀行に預金をすること

問4 下線部(d)に記された政策の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. コール・レートの目標値を事実上0%とする政策
- イ. コール・レートの目標値を事実上2%とする政策
- ウ. コール・レートの目標値を事実上5%とする政策

ビジネス経済 A 解答用紙

得点

1	問1	問2	問3					

2	問1					問2	問3	問4

3	問1					問2	問3
	の法則						

4	問1	問2	問3	問4

5	問1	問2	問3
			点

6	問1	問2		問3	問4

7	問1	問2	問3	問4

8	問1		問2	問3
	円			

9	問1	問2	問3

10	問1	問2				問3	問4

11	問1				問2	問3
	の原理					

12	問1	問2	問3		問4

13	問1	問2	問3	問4

14	問1	問2	問3	問4

受験場校				受験番号			
------	--	--	--	------	--	--	--

総得点	
-----	--

ビジネス経済 A 模範解答 (各2点)



()内は別解である。

得点

	問1	問2	問3						
①	ア	ウ	市	場	メ	カ	ニ	ズ	ム

6

	問1				問2	問3	問4		
②	完	全	競	争	市	場	イ	ウ	ア

8

	問1				問2	問3	
③	限界効用逡減				の法則	イ	ア

6

	問1	問2	問3	問4
④	ウ	ウ	イ	ア

	問1	問2		問3	
⑤	ウ	均衡		点	イ

14

	問1	問2			問3	問4	
⑥	ア	過	当	競	争	イ	ウ

	問1	問2	問3	問4
⑦	ア	ウ	ア	イ

16

	問1		問2	問3	
⑧	60		円	ウ	イ

	問1	問2	問3
⑨	ア	イ	ア

12

	問1	問2					問3	問4		
⑩	ウ	基	準	バ	ス	ケ	ツ	ト	イ	ア

8

	問1				問2	問3	
⑪	有	効	需	要	の原理	イ	ア

6

	問1	問2	問3		問4
⑫	ア	ウ	累進税 (累進課税)		イ

8

	問1	問2	問3	問4
⑬	ウ	イ	ア	ウ

	問1	問2	問3	問4
⑭	ウ	イ	イ	ア

16

総得点	100
-----	-----